



# 感謝と決意を込めて はたち 令和5年度 二十歳の集い

令和6年1月7日、松尾地区172人を対象に松尾地区二十歳の集いが開催された。コロナ禍を経て今年度から再び、式典を松尾公民館、祝賀会をシルクホテルで行う従来の形に戻しての開催となった。当日集まった二十歳の成人111人は、保護者や恩師とともに、小・中学校時代を懐かしみながら、お互いの人生の節目、新たな門出を祝い合った。



発行所  
飯田市松尾公民館  
編集人  
松尾公民館広報委員会  
印刷：龍共印刷株式会社

子供たちもよく知っている『おおきなかぶ』を保育士5人が人形を操り演じると、80人余りの子供たちは、一緒に歌った手をたたいて喜び、夢中で楽しんでいました。

## おおきなかぶが抜けました 市保育士による公立最後の 人形劇

2月19日松尾東保育園で、飯田市立保育園の保育士による人形劇の上演があった。4月から私立になるため、公立保育園としては最後の行事となった。



1月30日に松尾公民館で説明会が行われた。萱垣光英理事長の挨拶の後、開発に携わる(株)藤測から、5月から令和7年6月までを2工区に分け、まず園舎、児童クラブ、職員ブ、職員駐車を建設し、次に現園舎を取り壊し、園庭、送迎用駐車を作る予定との説明があった。



新松尾東保育園の配置予定図 (1.30 説明会時点)



令和6年度から松尾東保育園が民営化される。社会福祉法人萱垣会が運営し、新松尾保育園(仮称)となる。

## 松尾東保育園地元説明会 令和6年度より私立へ

今年度の二十歳の集い実行委員5人に聞きました。  
①実行委員をやってみた感想  
②今後の目標や意気込み

①大変だったけどみんなが楽しんでくれて、思い出に残る二十歳の集いができてよかったです。  
②社会で活躍できるように社会人になる!!

田仲 史奈

①本格的に実行委員会が始まると大変でした。でも周りと協力して、主事さんもサポートしてくれていい思い出になりました。  
②これから自分のやりたいことに向かって飯田を離れますが、後悔しないようにガンバルバです。

宮下 竜耶

①実行委員のメンバーでたくさん話し合っと思って思い出に残る式が出来ました。  
②今後は仕事で法面工をもっとできるように頑張ります。

若山 虹翔



市長を囲んで実行委員と二十歳代表

## 令和5年度 二十歳の集い 実行委員の想い

事に成功させて良かったです。大変だったけど、貴重な経験ができました。  
②今後は充実した大学生活を送りたいです。

小笠原 悠衣

②久々に会った同級生がそれぞれの場所で活躍していて、刺激をもらいました。周りに負けない様に頑張っていきたいです。

原 哉太

松尾の人口	
男子	6,156 人
女子	6,618 人
計	12,774 人
世帯数	5,362世帯
2月末現在	

新しい年が始まったと思いきや、既に3月。我が家には、先日高校受験を終えた娘がいるが、こんな受験生がいるものかと、驚くほど勉強をしない。あまりガミガミ言うのは性に合わないので静観してきた▼ドイツの心理学者ヘルマン・エビンググハウスの調査結果によると、人の脳は二度学習したことを1時間後には56%忘れ、1日後には74%、更に1週間後には77%、1ヵ月後には79%を忘れるという▼確かに中学3年生だった頃の私は娘より勉強をしていたと思うが、勉強というものが離れて随分時間が経った今、そのほとんどを忘れてしまっている。勉強はしないが現役の中学生の娘に私はさっと負けてしまうだろう。そう思うと少しがっかりする▼しかし忘れてしまっても、その時勉強をして少しでも成果があったということに興味があり、今までの人生の岐路で少しだけ選択肢が増えたように思う。やはり学生時代は少し頑張っ勉強した方が良く今と今になって思う▼子供の自主性に任せて無言を貫いてきた。でも少しだけ親らしく「勉強しなさい方がいいよ」とアドバイスをしてみることにした今日この頃である。

**松風**  
新しい年が始まったと思いきや、既に3月。我が家には、先日高校受験を終えた娘がいるが、こんな受験生がいるものかと、驚くほど勉強をしない。あまりガミガミ言うのは性に合わないので静観してきた▼ドイツの心理学者ヘルマン・エビンググハウスの調査結果によると、人の脳は二度学習したことを1時間後には56%忘れ、1日後には74%、更に1週間後には77%、1ヵ月後には79%を忘れるという▼確かに中学3年生だった頃の私は娘より勉強をしていたと思うが、勉強というものが離れて随分時間が経った今、そのほとんどを忘れてしまっている。勉強はしないが現役の中学生の娘に私はさっと負けてしまうだろう。そう思うと少しがっかりする▼しかし忘れてしまっても、その時勉強をして少しでも成果があったということに興味があり、今までの人生の岐路で少しだけ選択肢が増えたように思う。やはり学生時代は少し頑張っ勉強した方が良く今と今になって思う▼子供の自主性に任せて無言を貫いてきた。でも少しだけ親らしく「勉強しなさい方がいいよ」とアドバイスをしてみることにした今日この頃である。

# 「変わる事無く残してゆくもの」「時代と共に変わってゆくもの」今、新しい文化祭の始まりの時

## 令和5年度 松尾地区文化祭

2月3日・4日の2日間、松尾地区文化祭が松尾公民館で行われた。今年は文化展、芸能発表とも行われ、4年ぶりの通常開催となった。

新企画の「糸鋸寿司ナルカリクラフト」「伊那谷芸人☆さっちゃんの大道芸」「キッチンカーがやってくる(妃の鮎、鋤柄製麺、ペロンチヨ号)」に大勢の区民が集まった。芸能発表も大盛況で、客席は満員となり、どの演目も拍手喝采であった。



### 松尾地区文化祭を終えて



公民館長 鎌倉 豊

2月3日は春を思わせる晴天となり、4日は心配していた雪も開場後に上がり、4年ぶりとなる通常開催に延べ2000人が訪れ、楽しんでいただくことができました。

文化祭のテーマ「変わる事無く残してゆくもの」「時代と共に変わってゆくもの」今、新しい文化祭の始まりの時」の通り、芸能発表会の再開、キッチンカーなど新企画を取り入れ、文化祭も新しいスタートを切ることができました。これも企画・準備・運営に汗を



文化委員長 熊谷 史花

2月3、4日の2日間4年ぶりに今まで通りの文化祭が開催され多くの皆様にご来場いただきました。オープニングの大道芸のショーに始まり、おもしろ科学教室、糸鋸の細工、テックレンジャーショーと大人から子供まで楽しめる催しに大変な賑わいでした。2日目には、新たな試みとしてキッチンカーをお願いし、芸能発表会も会場いっぱいの人に見に来ていただき驚いたほどです。

また、今回初めて松尾地区の高校生による「1分間ギネスに挑戦」という企画を自分たちで考えて参加してくれました。天候に恵まれたとはいえ、開催側の我々が驚くほどの皆様に来場いただきました。そして、作品を展示していただいた皆様の活動の成果を見ていただきとても良かったです。今回の文化祭は、我々実行委員も楽しい2日間となった事が一番の成功だったのではないかと思います。最後にになりましたが、文化祭にご協力いただいた地区の皆様、各団体の皆様、作品を展示していただいた皆様、全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

# みんなの笑顔あふれる舞台 芸能発表会

## 14団体が発表、熱きパフォーマンス



2月18日、飯田文化会館で「つながる。地域・人・そして未来へ」をテーマに飯田市民館大会が開催された。

最初に令和5年度教育功労者および第39回ムトス飯田賞受賞団体への表彰が行われた。その後、元都留文科大学教授で、現在NPO法人グラウンドワーク三島の専務理事として活躍されている渡辺豊博氏を迎え、基調講演を行った。

「右手にスコップ・左手にビールで元気なまちを創る」をテーマに、汚れた水の都・三島を再生したグラウンドワーク三島の手法を学ぶとして、地域再生の手法を解説した。

グラウンドワークは、英国発祥の活動であり、市民NPO、行政、企業の協力によって環境改善を行う取り組みである。グラウンドワーク三島は議論よりアクションを信条としており、地域の環境再生活動を積極的に推進している。最初の成果は、ドブ川と化した源兵衛川をホテルが乱舞し子供たちが川遊びのできる安全な水辺空間に創り上げた環境再生活動であった。

地域再生の手法は各集落を磨いて差別化して優位性を持たせることとした。そして、各集落を点として点と点をつなげる。つなげるにはアクセスをよくする必要がある、周遊バスの運行や、駐車場の設置を行う。このように点と点が結ばれると線となり、更に面となる。三島のまちも中心市街地から始めて、これを線、そして面にして広げ、人が往来する動線を重視する戦略が成功したと述べた。

最後に渡辺氏は「このまちづくりの拠点になるのが公民館であり、各公民館で小さくてもできることから始め、この点を線に広げ、更に線に面にして大きくしていくことで、飯田が大きく発展していくと思います。みんなで議論して、みんなの汗を流して形に残す。これを公民館を中心にして、



### 三島市再生の手法を学ぶ 第61回 飯田市民館大会

この賞は地域スポーツの推進活動に功績顕著な者に与えられるとの事で、長野県から推薦して頂きました。

荣誉ある受賞に際しましては、松尾の皆様をはじめと関係する多くの皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝致します。

スポーツ推進に関わってから27年目となりま

「文部科学大臣賞」を受賞して 田中利治

ですが、地域スポーツにペタリンクなどのニューススポーツを取り入れたり、子供のスポーツ環境の改善や中学校部活動への支援、女性、高齢者、障がい者のスポーツによる地域参加に努めて参りました。

今後はこの賞に恥じない様に、地域の皆様のご協力を得ながら、生涯スポーツ社会の実現に向けて頑張っていく所存です。今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

まちづくりが行われることを願っています」と語った。

### 第2分科会

第2分科会では「運動会再開？ 再会？」をテーマに、松尾公民館藤本亮直スポーツ委員長より、松尾地区運動会についての話題提供がされた。藤本委員長は3年間の中止を経て開催された運動会について「運動会は地区住民の交流の場であり松尾の将来を照らし、笑顔をつなげるものだ」と語った。

グループワークでは、話題の中で中学生ボランティアが活躍したことについての感想、どの地区でも課題になっている人集めについて、



ての他、運動会後に行われる慰労会が楽しくて参加する、または慰労会で本音の意見を聞けて次につなげていけるなど、盛んな意見交換がされた。

### 第5分科会

第5分科会では、育成活動に関わる内容で情報交換が行われた。

はじめに東野地区が、浜井場、丸山、追手町の3つの小学校の児童が他校と交流の場をどうやって作っていったら良いかを考え、寺子屋を通じた例を発表した。

次に下久堅地区の育成部の代表が、児童に川に入っ

ての他、運動会後に行われる慰労会が楽しくて参加する、または慰労会で本音の意見を聞けて次につなげていけるなど、盛んな意見交換がされた。

# 無病息災を願って

## 各区でどんど焼き

### 八幡町区

1月7日、八幡第一公園でどんど焼きが行われた。前日小学生とPTA役員が中心となり、各家庭から松飾り等を収集し準備を行った。



当日の朝、集まった約50人の区民の前で点火されると、子供たちからは歓声があがった。炎が高く上がる

と、熱さのためか見守る輪が一回り大きくなったが、集めた松飾りが勢いよく燃え上がる様子を神妙な面持ちで見守った。炎が弱くなると、残り火の周りに人が集まり、持ち寄った餅やマシユマロを焼いて頬張っていた。

小学校PTA篠田修支部長は「大勢の方の協力もあり、新年の行事を無事行う事ができてよかった」と安堵の表情で語った。



### 毛賀区

1月7日、毛賀区民会館広場で小学校PTA毛賀支部主催のおんべが行われた。

前日に高学年の児童と

### 常盤台区

正月恒例のどんど焼きが、1月7日常盤台公園で行われた。

前日に小学校PTAや区役員等が竹や木材を使って骨組みを作り、区内を

回って集めた正月飾りを使って立派なおんべが完成した。

当日は好天に恵まれ、朝5時30分に小学校PTA馬場秀紀支部長が点火。勢いよく燃え上がり、夜明け前の公園を明るく照らした。

この日の参加者は40人ほど。熾火になったところで、各自持ち寄った餅を親子で網に並べると、子供たちは楽しそうに焼き上がる様子を見つめていた。

佐藤一志分館長は「子供たちの減少で参加者も少なくなっているが、昔からの伝統行事なのでこれからも継続させていきたい」と語っていた。

当日は天候も良く穏やかな朝を迎えた。5時30分の花火の合図と共に、たいまつを持った6年生が輪になり点火。竹のはぜる音とともに瞬く間に炎が高く舞い上がり、今年の恵方である東北東へとなびくと、子供たちも歓声を上げた。

6時30分頃になると大勢の区民が集まってきて、出来た熾の上に事前に子供たちが配布してくれた竹を使い、思い思いに餅を焼き始めた。こげめが付いて焼きあがると、その場で早速食べる人もおり、今年も無病息災を願って、にぎやかなおんべとなった。

# 力作出そろそろ

## 代田区

2月11日、代田区コミュニティセンターで文化展が開催された。区民43人による様々な種類の62作品が展示された。

松村章子さんのキルト作品「梅雨明け間近」は、令和元年「東京国際キルトフェスティバル」トラディショナル部門で企画賞、同年アメリカケンタッキー州「AQSキルトコンテスト」ハンド部門で第3位に選ばれるなど国内外で高



作品に見入る人たち

い評価を受けている。今回の文化展について浅井晃文化部長は「作品の展示だけでなく、年間行事で撮った写真をスライドショーにしたり、ポン菓子の実演など新しいことを試した。多くの区民が来場してくれて大成功だったのではないか」と話した。

### 新井区

新井区文化祭が2月11日に新井コミュニティセンターで行われた。写真や生け花など多くの作品が展示され会場を飾った。2階の一角に囲碁ボール体験コーナーが設けられ、子供やお年寄りなどが楽しんでいた。

文化委員の谷口広登さんは「出展が年々減っているので囲碁ボールや区の活動をプロジェクトで紹介するなどの工夫をした」と話し、コーヒーやお汁粉など温かい飲み物が用意され、談笑の場となっていた。

# 地域のひとたちと一緒に

## 久井区

1月21日、分館主催の凧作り講習会が、寺所コミュニティ消防センターで開催された。小学生と未就学児10人、保護者8人、分館委員11人が参加した。カッターナイフ等が不要で簡単なグニャグニャ凧、高学年向けのデルタウイング凧の2種類を製作した。



グニャグニャ凧は部材を張るだけで簡単だったが、デルタウイング凧は部材を

# 囲碁ボール

## 四目連発で盛り上がる

### 清水区

2月11日、清水コミュニティ消防センターで、伍組対抗囲碁ボール大会が行われた。



今回は、9チーム10組合が参戦、総勢約50人が予選リーグと決勝リーグの4試合で順位を争った。

前回は比べ、子供たちの参加が増えて、親子で楽しむ光景が見られた。徐々にコツが掴めてくるにつれ四目並びも出だした。最終的に、3チームが四目賞を達成した。

優勝5番組、準優勝11番組、3位は7番組だった。平栗博幸分館主事は「参加者の年齢層が広がり嬉しい事である。来年度はより多くの参加を期待している」と語った。

### 明区

## 中年会が楽しくプレー

1月21日、明コミュニティ消防センターで明区中年会の囲碁ボール大会が行われ、参加者が3チームに分かれて対戦した。ゲーム中には、外野から「そこを狙って!」「相手の目を崩

して!」など、指示の声が飛び交い、熱戦を繰り広げた。

囲碁ボール終了後には懇親会を行い、会員同士の親睦を深めた。

大会を終え、西澤光郎中年会長は「今回の囲碁ボール大会で、今年度の中年会の行事を全て終えることができた。来年度は鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭の年番なので、中年会として協力していきたい」と話した。



# 待ちに待った大谷グローブ!!



メジャーリーガー大谷翔平選手寄贈のグローブが、2月20日に松尾小学校にも届いた。

6年の池田明日生さんは「待ちに待った大谷選手のグローブがやっとうちに来たので、友達と仲良く使うことができました。これからも大切に使うつもりです」と話した。

# ふれあいひろば

## 松尾地区文化祭で義援金募金

2月3日・4日の松尾地区文化祭で能登半島地震義援金募金を実施し、27,316円が集まった。飯田市を通じて石川県珠洲市へ届けられた。

\*飯田市教育功労者表彰  
2月18日の飯田市公民館大会(3面掲載)と同日同会場にて、飯田市教育功労者表彰式が行われ、松尾地区からは次の2人が受賞した。

- ・多田井 清さん(毛賀区)(公民館文化委員8年)
- ・松倉 進一さん(城区)(公民館スポーツ委員5年、体育委員4年)

\*緑ヶ丘中学校OB・OG吹奏楽団コンサート  
3月24日に緑ヶ丘中学校体育館で、20歳前後の緑ヶ丘中学校吹奏楽部OB・OGが中心となった吹奏楽団の地区住民向けコンサートが行われた。

# お詫び

前号(264号)5面「松尾サイエンススクール」の記事で、「塩澤萌空さん」の居住区を「代田区」と紹介しましたが、正しくは「八幡町区」です。お詫びして訂正します。

松尾地区HPが  
できました!

随時更新しています!

**松尾図書館**  
(公民館2階)

開館日  
水曜 午後 1~5時  
土曜 午前 10~午後 5時  
日曜 午後 1~5時

本のリクエストも受け付けています。